

紀南病院広報誌

第20号

平成22年4月

つながり

紀南病院スローガン(21年8月～) ゆっくり やさしく 一言 待つ心



■病院理念

熊野市育生町

優しくて、温かい、確かな医療を提供し、紀南の環境文化に根ざした地域連携の充実に努めます

■基本方針

1. サービス精神（KINAN）の徹底——（K）気持ちをこめて、（I）いつまでも、（N）納得のいく、（A）安心して安全な、（N）任務の遂行
2. 患者さんの権利を尊重し、わかりやすい説明を励行
3. 生活の質の向上（QOL：quality of life）を中心とした診療と援助
4. 行政や医師会と協同した地域医療の向上（救急医療・高齢者医療・健診・地域連携・福祉など）
5. 職員研修の強化と遠隔地医療教育の必須化
6. 職場環境の改善と健全な病院経営に基づく医療環境の提供

子供の目（弱視について）

眼科医長 久保 朗 子

子供の目は発達段階にある。だからなるべく小さいうちに異常に気がついて、治療や訓練をすることで、良くなる可能性がある。しかし子供は視力が悪くても、立体感が無くても普通の子と同じように遊ぶし、見えないと訴えないことがほとんどだ。だから、子供の目の病気には、周りの大人に少なからず責任がある。

「弱視」とは、遠視、乱視、斜視などによって視力がきちんと发育しないために、いくら度のあった眼鏡をかけても視力が出ない状態を言う。子供の顔つきや目つきを観察して、視線がきちんと合うか、いつも同じ方に顔を傾けたり回したりしていないか、顎を突き出したり、目を細めたりしていないか、注意してほしい。そして、子供の行動にも注意してほしい。薄暗くなると外で遊びたがらない、少しの段差でつまずき転びやすい、片目

を隠すと激しく泣いて嫌がる、なども病気のサインの場合がある。

弱視の治療は、眼鏡が基本だ。「こんなに小さいうちから眼鏡をかけさせるなんて、可哀そう」と思わないでほしい。弱視治療は12歳頃までが限界で、20歳になってから「見える眼鏡を作りたい」と思っても、残念ながら遅すぎるのだ。

最近では、アミューズメントパークや3Dシアターだけでなく、一般家庭用のテレビでも立体映像が楽しめる時代となった。友達が立体映像用の眼鏡をかけて、臨場感あふれる映画を楽しく観賞している時、同じ眼鏡をかけても、平面的にしか見ることができない子供がいる。それは両眼を一緒に使うことができない、弱視や斜視の子供達だ。子供の目に注意してほしい。治療や訓練することで、そういう子供達を一人でも減らすためには、子供の周りにいる大人達の協力が不可欠なのだから。



研修医だより



今年度最後に研修された東京大学医学部附属病院研修医の杉元理子先生に、紀南での研修についてインタビューさせていただきました。

Q 研修を終えての感想を聞かせて下さい。

A 毎日たくさんの症例にあたらせていただき、とても充実していて、あっという間でした。いろんな職員と交流できたことも、楽しい思い出となりました。

Q 特に印象に残ったことは？

A 研修プログラムのひとつ「ふるさと訪問」で、受持ち患者さんのお宅を訪れたことです。患者さんの生活、歴史、家族の思いを感じることができました。

Q 今回の研修で得た一番大きなものは何ですか？

A 高齢者の方が多いこの地域で、総合内科医としていろんな病気がみられて、最初の症状が典型的ではなく、惑わされてはいけないという事を学びました。それからこの地域の人達がとても優しく、みんな受け入れて、盛りたててくれたこともうれしかったです。上の先生方の指導の上手さや、熱意、後輩に対する配慮もとても勉強になりました。

Q 紀南病院に最後に一言お願いします。

A 先生方、看護師さん、コメディカルの皆さん、優しく受け入れてくださり、本当にありがとうございました。

杉元先生は今後東京に戻られ、一般の病院で血液内科の勉強をされるそうです。総合内科にも興味があり、また紀南に戻ってくる機会があればよろしくお願いしますと言っておられました。杉元先生の今後のご活躍とご健勝をお祈りしたいと思います。



タウンミーティング in 井田(2月25日) in 浅里(3月8日)

2月25日の井田会場(紀宝町)には25名の住民の方が来られ、相野谷診療所・松林研二所長、熊野消防本部・松田救急課長、紀南病院・久保事務部長が説明の後、質疑応答では、「ドクターヘリや防災ヘリの料金は」「携帯電話からの救急通報が可能な地域は?」「内科には紹介がどうしても必要ですか?」等の質問が出された。アンケートでは、質疑応答の時間が足りなかった、という意見も聞かれるほど、活発な意見交換がなされた。



相野谷診療所・松林研二所長

3月8日の浅里会場(紀宝町)には14名の住民の方がお越しになり、紀南病院・奥野正孝内科総括(三重県地域医療研修センター長)が、腰痛、高血圧、高脂血症、五十肩、アルコール等についての質



問にお答えした。22年3月末で紀南病院を退職される内科の瀬口優医師、中川十夢医師からは、浅里診療所に巡回診療に通われた思い出が語られた。ほとんどの時間を質疑応答に費やし、アンケートからは、「楽しい意見交換ができました」という声が聞かれました。



21年度中に当院に寄せられたご意見

平成21年4月～22年3月の間に、患者さんや住民の方々から、74件のご意見をいただきました。

<内容別件数> (全74件)

設備・環境への要望 例)「エアコンの温度が不適切」、等	29件	職員の接遇に関するクレーム 例)「先生、もっと患者の話に耳を傾けてください」、等	16件
診療システムへの要望 例)「診療待ち時間が長い」、等	13件	感謝・お礼の投書	7件
個人情報に関するクレーム 例)「外来待合における検査案内は小さな声で」、等	4件	診療内容・説明について不満 例)「血液検査データを渡されても専門用語ばかり」、等	3件
入院中の食事について提案 例)「味が薄い」、等	2件		

寄せられたご意見の一部（要旨）を紹介します。

●食べられない患者家族の、食べる場所を作ってもらいたい



3階中央病棟に「海の見える休憩室」を設けました。

●入院棟のトイレに洋式トイレが少ない



22年度中に入院棟トイレの一部を改修する予定です。

●(入院の)特別室のじゅうたんが汚れている



全ての特別室のじゅうたんを撤去し、フローリングの床にしました。

●採血結果の検査項目を、誰が見てもわかるようにしてください



検査項目説明書を作成して、希望する患者さんにはお渡しする予定です(4月から)。

●外来待合で、看護師さんが病名などの個人情報に関わることを、大きい声で言うのはやめてほしい



外来職員全てに周知し、気をつけます。

●検尿の際に使う採尿室内に、バッグやコートを掛ける棚かフックを設置してください



フックを設置しました。

●地下駐車場の障害者専用スペースが暗く、乗降が危険



蛍光灯を点けさせていただきました。

●外来受診で順番待ちをしている間、いつ自分が呼ばれるかわからないまま、何の案内も無く、トイレにも立ちづらい



長く待っていただいている患者さんには、極力職員からの声掛けをさせていただきます。トイレなどで離れる時は、各科窓口にご遠慮なくお伝えいただきますようお願いいたします。

●病棟の患者・家族が使う洗濯機と乾燥機を、もっと清潔にできませんか



定期的に管理課職員が点検・清掃することとしました。

今後もより良い医療サービスを提供するよう、努めてまいります。

病院ボランティア懇談会を開催

紀南病院では、毎日午前中2名の病院ボランティアの方が玄関や外来受付で受付方法や院内案内を手伝ってくれており、患者さんから大変喜んでいただいています。

去る2月3日、病院ボランティア関係者の方々と病院関係者との懇談会を開催しました。



ボランティアの方からは「自分を見つめなおすきっかけになる。案内方法の工夫。男性ボランティアの必要性、生け花や、俳句の掲示等の病院ボランティアの活動報告」等の意見が出され、病院側からは他の病院の取り組み等が紹介されました。

今後も定期的に情報交換する中で病院ボランティアのあり方を前向きに検討していくこととなりました。



病院耐震工事について

全国の病院の耐震化率は56%となっています。紀南病院におきましても、「本館、中央館、北館」が耐震基準を満たしていない状況です。

今回、国から「耐震化臨時特例交付金」が交付されることとなり、平成22年度で「中央館」の耐震工事を行う予定です。工事開始は、秋ぐらいからを予定していますが、工事中は騒音、振動等で皆様に大変ご迷惑をおかけすることとなりますが、「入院患者さんの安全を確保」するための工事ですのでご理解とご協力をお願いいたします。



病院内に写真百枚掲示（過去の紀南地域写真コンクール作品）



紀南病院『魅力ある病院づくり実行委員会（MBZ）』が中心となり、過去の紀南地域写真コンクールに出典された作品を、東紀州観光まちづくり公社のご協力により提供いただき、百点余り病院内に常設掲示しました。来院の際はご覧下さい。



紀南病院コーラス部 關めぐみ先生さよならコンサート

4年間にわたりコーラス部を引っ張り、指導していただいた關めぐみ先生が3月いっぱい退職することとなり、最後の集大成と感謝の気持ちを込めて特別コンサートが開催されました。



コーラス部からは、「We are the world」「もしもピアノが弾けたなら」など四曲が披露され、特別ゲストの三重大学医学部6年生の松井健太郎さんのバイオリンと關先生のオルガン伴奏による「前奏曲とアレグロ」など二曲が演奏されました。

患者さんや職員などたくさんの観客が訪れ、美しいハーモニーとバイオリンの音色に聴き入り、最後はコーラス部から關先生に花束と感謝の言葉が贈られました。關先生本当にありがとうございました。



看護管理者研修を修了

宮向井ちとせ看護部長が看護管理者教育セカンドレベル、佐武里美看護師長がファーストレベルを受講し、それぞれ修了しました。長期にわたる研修を終えての感想として「同じ立場の人達と共に学び、意見交換や交流を持つことができたことは大きな財産になった。病院の問題点や良い点を改めて見直すことができ、今後の魅力ある病院づくりに活かしていきたい。」とのことでした。



宮向井部長（左）と佐武師長

脳外科職員による外来アート展示

脳外科外来受付には、季節ごとに、脳外科職員による手作りアートが飾られています。来院の際はお立ち寄りください。





た き び

奥野正孝

神島から8km位離れたところにある答志島では、結婚すると小さな船を作って夫婦一緒に海へ漁に出る。これを夫婦船という。夫が舵を取り妻が網を投げ入れる。魚が取れると、妻が舵を取り

夫が網を引く。家でも漁でもいつも一緒、なかなかほほえましい仕組みである。

冬の北風の強い日、神島の近くで漁をしていた夫婦船が大きな横波を受け、船縁にいた妻がもんどりうって海に落ちた。妻は貫禄十分な体格をしていたのと、たくさんの重着にどんどん海水がしみ込んだことで、とても自力で船に這い上がれないほど重くなっていた。夫は慌てて妻を助けようとしたが、すでに妻には力がなく、夫一人では引き上げられないほど重くなっていた。風は強く、船は傾き、舵を取らないと転覆の危険もある。夫は妻を引き上げられないまま、船縁に妻の体をロープで縛り付け、舵を取り無線で助けを求めた。

無線を聞きつけた神島の漁師達は、漁真っ最中にもかかわらず魚がついたままの網をぼうり出し全速で現場に向かった。陸では漁協の無線室に届いた情報が口伝えて、どのような通信手段よりも早く島中の人に伝わった。家で掃除をしていたおばさんや、のんびりおしゃべりしていたおばあさん達は、大あわてで港に集まった。

診察室にいた私は、やけに外が騒がしいのに気付いた。おばさんやおばあさん達が口々に何かを叫びながら、あっちへいったりこっちへいったり文字どおり右往左往しているのが見えた。

そのうち、手に手に木切れを持って集まってたきびかと思うと、山と積み始めた。そして、火がつけられ巨大なたきびが始まった。しばらくすると、大波をけたてて、漁船が入港してきた。水のしたたる、大きな人間が港に下ろされ、たきびの所へ運ばれた。ここでやっと事態を理解した私は、診察室を十分暖めるように指示し、診療所を飛び出してたきびの所に走った。たきびの前の、人々に支えられた、服を着たままのぐったりした大きな体からは湯気が出、服の焼け焦げる臭いがした。このままでは体が暖まるのには時間がかかりすぎると判断した私は、人混みの後ろから、診療所にすぐに運ぶように叫んだが誰も耳を貸さない。人をかき分け、たきびの前に出て、大声で叫んで、やっと人々は私の存在に気付いた。男達にはこの人を診療所に運ぶように、女性達には毛布とストーブを持って来るように頼んだ。すると一転、凄いスピードで男達は運び始めた。あまりの勢いのために、診療所の玄関のドアは外れ、廊下は土足のために泥だらけになった。女達は蜘蛛の子を散らすようにそれぞれの家々に戻った。しばらくすると、診療所には毛布の山と、ストーブの林ができた。

答志島から迎える船が着く頃には、恐怖に歪んでいた妻の顔には赤味がさし、歯の根も合わなかった口からは僅かながら言葉も出るようになった。その後風呂が用意され、風がおさまりかけた夕方には夫婦一緒に帰って行った。

神島は何もなかったように普通の日の夕方に戻った。私は、診療所で後片付けをしながら、

冬の海で溺れた人を助けるのに、昔からの方法で本能的に動いた島の人達に驚くとともに、時々暴走するけれど、一生懸命互いに助け合って生きる人達と一緒に暮らしているのがうれしくて、一人ニコニコしていた。傍観者は一人もいなかった。誰もが何か自分のできることをしようとしていた。

ふと廊下を見ると、おろおろして何もできなかったおばあちゃんが、曲がった腰をさらに曲げて、膝をついて、泥だらけになった床を黙々と拭いていた。



写真提供 紀南地域写真コンクール

区 分		月	火	水	木	金
内 科	1 診(初診)	奥野正孝内科総括 (磯部亮太医師)	奥野正孝内科総括 (野口正満医師)	中前 範子医師	武田 裕子医師 (北出 卓医師)	奥野正孝内科総括 (野口正満医師・磯部亮太医師)
	2 診 検診	和田 敏裕医長	和田 敏裕医長	和田 敏裕医長	和田 敏裕医長	和田 敏裕医長
	3 診(再診)	西久保公映副院長	西久保公映副院長 (11:00~)	西久保公映副院長	西久保公映副院長 (11:00~)	
	4 診(再診)		中前 範子医師		小林 文人医長 尾辻 典子医師	
						糖尿病専門外来(月1回) 住田 安弘医師 肝臓病専門外来(月2回) 岩佐元雄医師・杉本龍亮医師 循環器専門外来(月1回) 山門 徹医師
外 科	1 診	乳腺専門外来(第1月曜日) 小川 朋子医師	須崎 眞副院長	野口 孝院長	野口 孝院長	須崎 眞副院長
整 形 外 科	2 診	加藤 宏之医師	加藤 宏之医師	加藤 宏之医師	藤井 武宏医師	藤井 武宏医師
	再 診	川喜田英司医長		川喜田英司医長	濱口 貴彦医師	渥美 寛医師
脳神経外科	初 診	濱口 貴彦医師		濱口 貴彦医師	川喜田英司医長	川喜田英司医長
	2 診	仲尾 貢二医長	仲尾 貢二医長		仲尾 貢二医長	脳ドック専門外来 仲尾 貢二医長
眼 科	1 診	久保 朗子医長 (第1・第3・第5休診)	久保 朗子医長	久保 朗子医長	久保 朗子医長	久保 朗子医長
産 婦 人 科	初 診	前沢 忠志医師	小林 良成医師	紀平 知久医師	前沢 忠志医師	小林 良成医師
	再 診	紀平 知久医師	前沢 忠志医師	小林 良成医師	紀平 知久医師	前沢 忠志医師
小 児 科	1 診	間宮 範人医長	間宮 範人医長	間宮 範人医長		間宮 範人医長
皮 膚 科	1 診	嶋 聡子医長		嶋 聡子医長		嶋 聡子医長
神 経 内 科	1 診					木田 博隆医師 谷口 彰医師 成田 有吾医師
泌 尿 器 科	1 診			堀靖英医師(午後) 第2・第4は午前から		
耳 鼻 咽 喉 科	1 診				松浦徹医師(午前)	
歯 科 口 腔 外 科	1 診	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長
備 考	※ 受付時間は午前7時30分～午前11時30分までとなっております。ただし、急患については時間外でも受付します。なお、当院を初めて受診される患者様及び、診察券をお持ちでない患者様の受付時間は、午前8時からとなります。 ※ 整形外科・皮膚科の受付時間は午前7時30分～11時までとなります。 ※ 神経内科の診療は、現在 新規の患者様の受け入れが困難な状況です。内科・脳神経外科等へご相談下さい。 ※ 眼科は、第1・第3・第5月曜日は休診となります。 ※ 泌尿器科に受診を希望される場合は、かかりつけ医からの紹介予約が必要です。かかりつけ医にご相談下さい。					

新しく着任された先生

①前任地

②趣味

③医師を志した理由

④医学部に入るにはどのようなことが必要だと思いますか

⑤抱負



整形外科医師

はまぐちたかひこ

濱口貴彦

(4月1日着任)

- ①三重大学附属病院
- ②外来、回診、手術等の時間が幸せであり、趣味の様なものです。
- ③痛いことが嫌いで、多くの人の痛みを和らげたいと思い、整形外科医になりました。
- ④医師になりたいという気持ち
- ⑤皆様の痛みを和らげることを目標に、極力、痛みの伴わない治療を行いたいと思います。

外科医師

かとうひろゆき

加藤宏之

(2月1日着任)

- ①三重大学附属病院
- ②海外旅行
- ③一生を通じてやり甲斐を持てる職業を求めて。
- ④モチベーションとそれを持続させる力
- ⑤皆さんに信用されるよう、一生懸命頑張りたいと思います。

産婦人科医師

まえざわたかし

前沢忠志

(4月1日着任)

- ①済生会松阪総合病院
- ②テニス、スキー等
- ③多くの人を救いたいと思ったから。
- ④強い目的意識を持って頑張ること。
- ⑤地域の皆さんのお役に立てるようにがんばっていきます。

内科医師

いそべりょうた

磯部亮太

(4月1日着任)

- ①済生会松阪総合病院
- ②買い物
- ③人のためになりたかったから
- ④自制心
- ⑤がんばります。

産婦人科医師

こばやしよしなり

小林良成

(4月1日着任)

- ①三重中央医療センター
- ③人を助ける仕事があったので。
- ④日々の努力
- ⑤これまではハイリスク妊娠の管理を中心に仕事をやっていました。今後は、この地域の皆さんが安心して出産が出来る様、頑張りたいと思います。

内科医師

のぐちまさみつ

野口正満

(4月1日着任)

- ①済生会松阪総合病院
- ②走ること 空手 スキューバダイビング
- ③何か人のためにできたらと思う
- ④努力
- ⑤がんばります。

小児科医師

まみやのりひと

間宮範人

(4月1日着任)

- ①三重中央医療センター
- ②サッカー観戦
- ③幼少時に自身が病院にお世話になる機会が多かったので。
- ④最後は気持ち。
- ⑤地域の皆様に信頼される医師を目指したいと思えます。どうか宜しくお願い申し上げます。